

れい わ ねん ど ぜん き き か く て ん
令和8年度 前期企画展

不思議な

しかけ絵本

『ピーターラビットの世界』

ビアトリクス・ポター/さく きたむら まさお/やく

だいにほんかいが
大日本絵画 2015



とびだす

ひろがる

- ◆ 不思議なしかけ絵本 貸出絵本リスト……1p
- ♠ 開催にあたって ……………2p
- ◆ 「しかけ絵本」の始まりから現代まで ……3p
- ♠ 展示作品の主要な作家たち ……………5p
- ◆ しかけ絵本 種類いろいろ ……………6p
- ♠ 参考資料・関連資料 ……………9p

いわき市立いわき総合図書館

いわき市平字田町 120 ラトブ4・5階

TEL 0246-22-5552

<http://library.city.iwaki.fukushima.jp>





不思議なしかけ絵本 貸出絵本リスト



No	タイトル	作者等	出版社	出版年	請求記号	
					大きさ	しかけ
1	あめのひのえんそく	間瀬 なおかた/絵と文	ひさかたチャイルド	2003	緑/E/マ 25×25cm	変形ページ
2	おおきなおおきな木みたいに	ブリッタ・テッケントラップ/作・絵 木坂 涼/訳	ひさかたチャイルド	2019	空/E/テ 29cm	穴あき
3	おなじそらのしたで	ブリッタ・テッケントラップ/作・絵 木坂 涼/訳	ひさかたチャイルド	2017	空/E/テ 29cm	穴あき
4	おめんです	いしかわ こうじ/作・絵	偕成社	2013	青/E/イ 21×21cm	めくる
5	きょうのおやつは	わたなべ ちなつ/さく	福音館書店	2014	茶/E/ワ 19cm	鏡付き
6	きりのなかのサーカス	ブルーノ・ムナーリ/作 八木田 宜子/訳	フレーベル館	2009	緑/E/ム 22×22cm	トレーシング ペーパー
7	ごきげんななめのとんとむし	エリック・カール/さく もり ひさし/やく	偕成社	1998	紫/E/カ 27×27cm	変形ページ
8	しろくまのパンツ	tupera tupera/さく	ブロンズ新社	2012	空/E/ツ 31cm	穴あき
9	地球は日時計	安野 光雅/作	福音館書店	2025	449/A 26cm	飛び出す
10	動物のしている世界	ギヨーム デュプラ/著 渡辺 滋人/訳	創元社	2014	481/テ 34cm	めくる
11	どんどんめくり	やぎ たみこ/さく	ブロンズ新社	2024	茶/E/ヤ/ 20cm	めくる
12	ねことさかなとなみぼうず	わたなべ ゆういち/作・絵	フレーベル館	2017	茶/E/ワ 23×24cm	飛び出す
13	パパ、お月さまとって！	エリック カール/さく もり ひさし/やく	偕成社	2015	紫/E/カ 30cm	ひろがる
14	はらぺこあおむし	エリック カール/さく もり ひさし/やく	偕成社	1997	赤/E/カ 22×31cm	穴あき
15	ピーターのハッピーイースター！	ビアトリクス・ポター/さく みた かよこ/やく	大日本絵画	2020	赤/E/ポ 22×22cm	さわる
16	びっくり水族館	長 新太/著	こぐま社	2005	空/E/チ 26×26cm	ひろがる
17	ペネロペゆきあそびをする	アン・グットマン/ぶん ゲオルグ・ハレンスレーベン/え ひがし かずこ/やく	岩崎書店	2016	黄/E/ハ 20×20cm	ひっぱる
18	みんなおやすみ	ブルーノ・ムナーリ/作 谷川 俊太郎/訳	フレーベル館	2012	緑/E/ム 33cm	めくる
19	みんなにゴリラ	高島 那生/作	ポプラ社	2016	空/E/タ 20×20cm	穴あき
20	やさいさん	tupera tupera/さく	学研プラス	2010	空/E/ツ 18×18cm	めくる



◆リストに掲載の本は貸出できます。ぜひご利用ください。

開催にあたって

「しかけ絵本」と聞くと、どんな絵本が思い浮かびますか？「飛び出す絵本」や「ポップアップ絵本」が浮かぶ方も多いかもしれません。

しかけ絵本には、ページを開くと折りたたまれた紙が立ち上がったり、つまみを引くと絵が動いたり、音が鳴る・光るなど、さまざまな種類があります。「しかけ」の工夫や技術は、絵やものがたり

の魅力をさらに引き出します。
本展では、アンティーク作品(1988年ほるぷ出版「アンティークポップアップ絵本傑作選」)や現代のしかけ絵本を展示し、その歴史と種類を紹介します。

絵本を開くと、絵が飛び出してくるポップアップ型、フタをめくると別の絵が現れるフラップ型、絵本が360度開くドールハウス型などのしかけもご覧いただけます。

また、4階の展示コーナーでは、貸出できるしかけ絵本も展示しています。ページをめくると広がる、不思議なしかけ絵本の世界をお楽しみください。

いわき市立いわき総合図書館



「しかけ絵本」の 始まりから現代まで

しかけ絵本とは、ページを開くと折りたたまれた紙が立ち上がったり、つまみを引くと絵が動いたり、音が鳴るなど、本にしかけがある絵本のことです。

本のページを開いたりに触れたりすることで、様々な動きが体験できるしかけ絵本は、科学や医学、地理といった専門分野をわかりやすく伝える目的が始まりと言われています。複雑な知識を視覚的に理解できる手法が発展し、そのわかりやすさが、後に子ども向けの絵本にも取り入れられていきました。

時代とともに印刷技術も向上し、しかけの幅が広がり、現代では、国内外の作家たちが、構造をさらに高度に進化させています。

13世紀～17世紀

書物に「しかけ」を用いたはじまり

「しかけ」の始まりは、天文学など学術的な事柄をわかりやすく伝えるために用いられたといわれています。

13世紀には、天文学の道具として星の動きを計算するために、羊皮紙で作られた円盤型の「しかけ」が作られました。

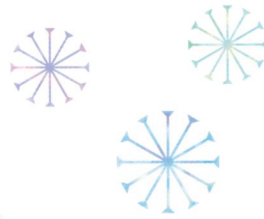
16世紀頃になると、医学・地理学でもしかけを用い、より分かりやすく表現し伝えていたとされています。例えば医学では、人体解剖図のページをめくって内臓の重なりを理解するなど活用しました。



18世紀

「子ども向け」しかけ絵本の出版

絵本の世界にしかけが登場したのは、18世紀後半、ロンドンのロバート・セイヤー刊の道化絵本といわれています。挿絵にかぶせたフタをめくり、景色や場面の变化を楽しむくみで、フラップ（めくり）をめくると絵が変わるしかけは、子どもたちにも親しまれました。



19世紀

しかけ絵本の黄金期

ドイツではロタル・メッゲンドルファー、イギリスではアーネスト・ニスターが活躍し、ひとつのつまみを引くと、複数の人物や動物が同時に動く精巧なしかけの作品が作られ、大流行しました。

また、穴から覗くと奥行きのある風景が見える「ピープショー」、演劇の舞台のような形で物語が展開する「舞台型」、プルトブや回転盤による「変わり絵」、開くと絵が立ち上がる立体など、手の込んだ絵本が続きつぎと出版され、印刷技術も向上していきました。



20世紀～現代

ペーパーエンジニアの活躍

1930年代には、アメリカの出版社ブルーリボンブックス社が、本のページを開くと絵が立ち上がる「ポップ・アップ」ということばをつくりだし、「オズの魔法使い」、「ふしぎの国のアリス」など物語のポップアップ型絵本が大ヒットしました。

この影響はヨーロッパにも及び、1950～70年代のチェコでは多くのポップアップ絵本が制作されました。

1990年代以降はペーパーエンジニアの活躍により、絵が多方向に立ち上がるなどその技術が高度化し、ロバート・サブダやマシュー・ラインハートなどの作家たちにより、複雑な構造のしかけ絵本が続きつぎと制作されています。



展示作品の主要な作家たち



アーネスト・ニスター

Ernest Nister (1842~1909)

1842年ドイツ生まれのしかけ絵本作家。イギリスへ渡り、出版社を設立し多くのしかけ絵本を制作した。紙を何層も重ねたしかけを開発し、上下で絵が変わるブラインド式と、円盤回転式のかわり絵を生み出した。気品がある美しい風景と子どもの絵が特徴。



ロタール・メッゲンドルファー

Lothar Meggendorfer (1847~1925)

1847年、ドイツ・ミュンヘン生まれ。一つのタブを引っぱると複数のしかけが動くプルタブ型で知られる。「インターナショナル・サーカス」、「都市公園」は、そのしかけや美しさから、19世紀に出版されたしかけ絵本の中で傑作とされている。



ロバート・サブダ

Robert Sabuda (1965~)

1965年、アメリカ生まれ、ニューヨーク在住。「オズの魔法使い」や「不思議の国のアリス」が有名な作品で“紙の魔術師”と呼ばれる。



マシュー・ラインハート

Matthew Reinhart (1971~)

1971年、アメリカ生まれ。現代を代表するしかけ絵本作家のひとり。ニューヨークでロバート・サブダに才能を見出された、ペーパー・エンジニア。

日本のしかけ絵本

日本の「しかけのある絵本」は、江戸時代からありました。

この時代の日本の本は、柔らかい和紙の袋とじを糸で綴じた作りになっており、しかけの構造は、絵本（草双紙など）のページに、小さな紙が貼り付けられ、めくると下にある絵が出てくるものが中心でした。

日本で「飛び出す絵本」がたくさん作られるようになった時期は、硬い画用紙(洋紙)が輸入されて以後と思われます。

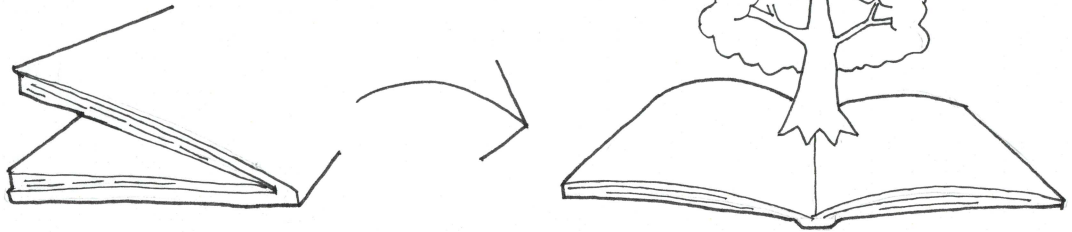
明治時代から大正時代にかけて、欧米のしかけ絵本は日本に輸入されるようになり、戦後はデパートなどで購入できるようになっていきました。1960年代後半からは、日本の出版社が海外のポップアップ絵本の日本語版を出版し始めます。また、国内でも日本の作家によるしかけ絵本がつつぎつつぎ制作されていきました。

しかけ絵本 種類 いろいろ

しかけ絵本の種類は、さまざまなものがあります。
ここでは、今回の展示作品を中心に紹介します。

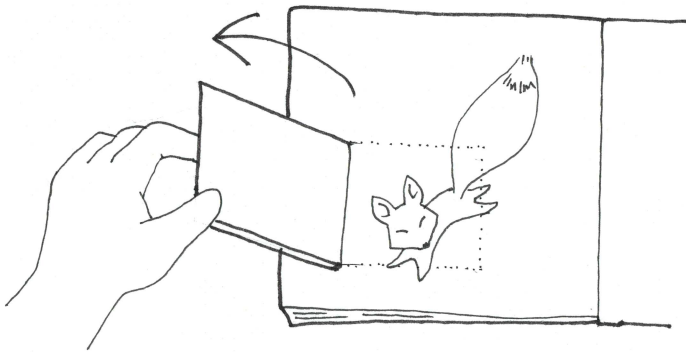
飛び出す (ポップアップ)

ページを開くと、折りたたまれた
絵の部分が立体的に立ち上がる



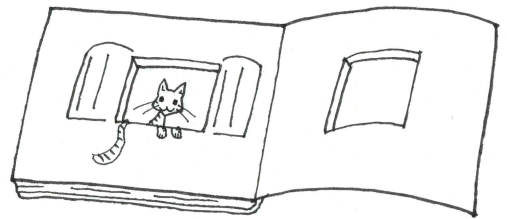
めくる (フラップ)

ページの一部の折りたたまれた紙 (フラップ) をめくると、隠れた絵や文字が現れる



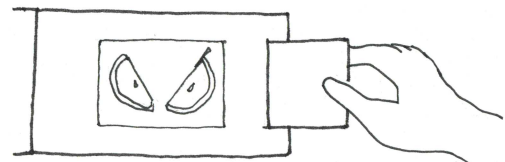
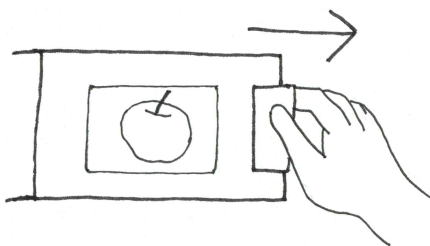
穴あき・型抜き

ページにくり抜かれた穴から、次のページの絵が見え、ページをめくる前と後で絵が変化して見える



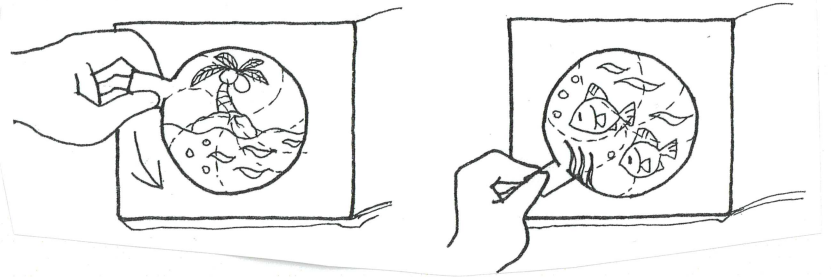
ひっぱる (スライド・プルタブ)

つまみをひっぱったり、横にスライドすると、絵が現れたり、動いたりする



円盤型

円盤状のしかけ部分を回転すると、絵が放射状に分割されて全く別の絵が現れる



かたちいろいろ

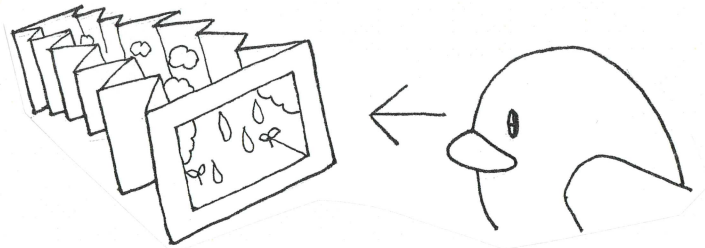
舞台型

演劇の舞台のような形の中で物語が展開する



のぞきからくり

(ピープショー) 蛇腹式の絵本の穴をのぞくと奥行のある風景が見える



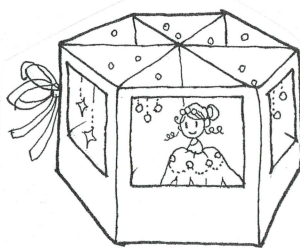
メリーゴーランド・カルーセル

本を一周 (360度) させて広げると、立体的な舞台のようになる



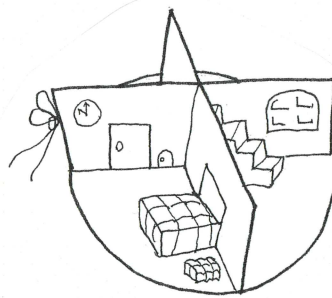
レイヤードステージ型カルーセル

このステージの中で物語が展開する



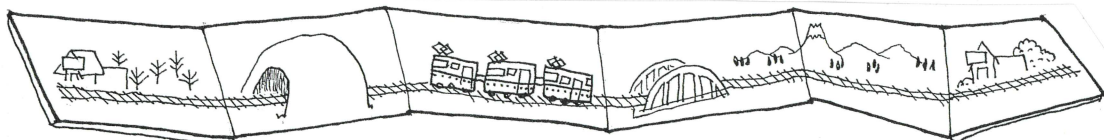
ドールハウス型カルーセル

窓やドアなどがあり、飾ったり人形で遊ぶこともできる



じゃばら・パノラマ

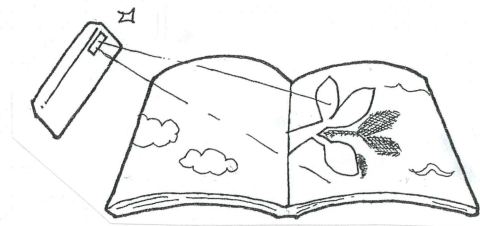
折りたたまれたページを伸ばすと、長い1つの景色や物語になっている





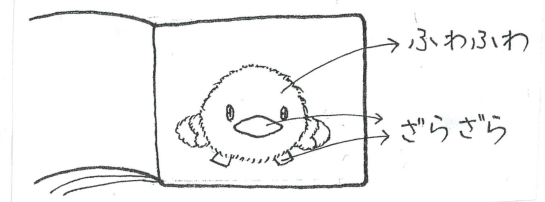
シルエット

垂直に立たせた絵に光をあて、影を動かす



さわる (テクスチャー)

毛糸やプラスチックなど感触が異なる素材を使用する



◆ スキャニメーション

特殊なフィルム (スキャニメーション) を使用し、目の錯覚で絵が動いて見える

♠ **ホログラム** 本にブラックライトを当てると絵が現れる

◆ 音が出る (サウンド)

ページを開く、触れることで、音楽や動物の鳴き声、効果音などの音声が流れる

♠ **光る** (ライト) ページを開く、触れるなどで、一部が光る

◆ **香り** 紙面をこすると、香りがでる

♠ しかけ絵本の種類は、このほかにもまだまだあります

しかけ絵本は、紙や製本の状態と、動くしくみの組み合わせが複雑にかかっています。何度も動かすうちに壊れやすくなり、修理も難しく繊細です。

これからも丁寧に扱い、しかけ絵本の「不思議」を楽しんでいただきたいと思います。



『ピーターラビットの世界』

ビアトリス・ポター/さく

きたむら まさお/やく

大日本絵画 2015

>>> 参考資料・関連資料 <<<

- ◆ 『絵本の事典』 中川素子ほか || 編 朝倉書店 2011 (R/726.6/エ)
- ◆ 『しかけ絵本』 飛び出す、ときめく、遊ぶ、楽しむ 別冊太陽 平凡社 2018 (C/726/シ)
- ◆ 『オックスフォード世界児童文学百科』 ハンフリー カーペンター || 著
マリ プリチャード || 著 原書房 1999 (R/909.0/カへ)
- ◆ 『実物で学ぶしかけ絵本の基礎知識ポップアップ』 デビッド・A.カーター || 著
ジェームス・ダイアズ || 著 大日本絵画 2000 (754.9/カ)
- ◆ 『しかけ絵本の基礎知識 実技編1』 菊地清 || 著 わくはじめ || 著 大日本絵画 2004 (754/キ)
- ◆ 『ポップアップの作り方』 ポール・ジャクソン || 著 大日本絵画 2013 (754.9/ジ)
- ◆ 『ポップアップデザインサンプル帖』 吉田美幸 || [著] ピエ・ブックス 2006 (754.9/ヨ)
- ◆ 『プルタブ』 しかけ絵本の基礎知識 こづま美千子 || 著 わくはじめ || 著 大日本絵画 2006(754.9/コ)
- ◆ 『絵本と遊ぼう』 目と手で楽しむ絵本集 中川素子 || 選 別冊太陽 平凡社 2000 (C/726/エ)
- ◆ 『しかけ絵本の作り方 パート1』 ジェーンアービン || 著 大日本絵画 1995 (C/726/ア-1)
- ◆ 『しかけ絵本の作り方 パート2』 ジェーンアービン || 著 大日本絵画 1995 (C/726/ア-2)

令和8(2026)年7月1日 発行

編集・発行 いわき市立いわき総合図書館

令和8年度 いわき総合図書館 前期企画展

「不思議なしかけ絵本」

会期 令和8(2026)年7月1日(水)～10月18日(日)

会場 いわき総合図書館 5階 企画展示コーナー